



## ごあいさつ

保育士部会 部会長 若槻 紀子 (雲南保育研究会八川幼児園)

この度、保育士部会長を務めさせていただくことになりました、雲南保育研究会八川幼児園の若槻紀子です。部会長という大役に戸惑うことばかりですが、学ぶ機会を与えていただいたことに感謝し、多くの方との出会いを大切にしながら精一杯努めさせていただきたいと思っております。皆様のご協力とご指導をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

私は、主任という立場にある今、「主任の役割とはなんだろう？」自分自身が園児・保育者・保護者との関係性がどうあるべきか…日々葛藤し、課題をもちながら過ごす毎日です。

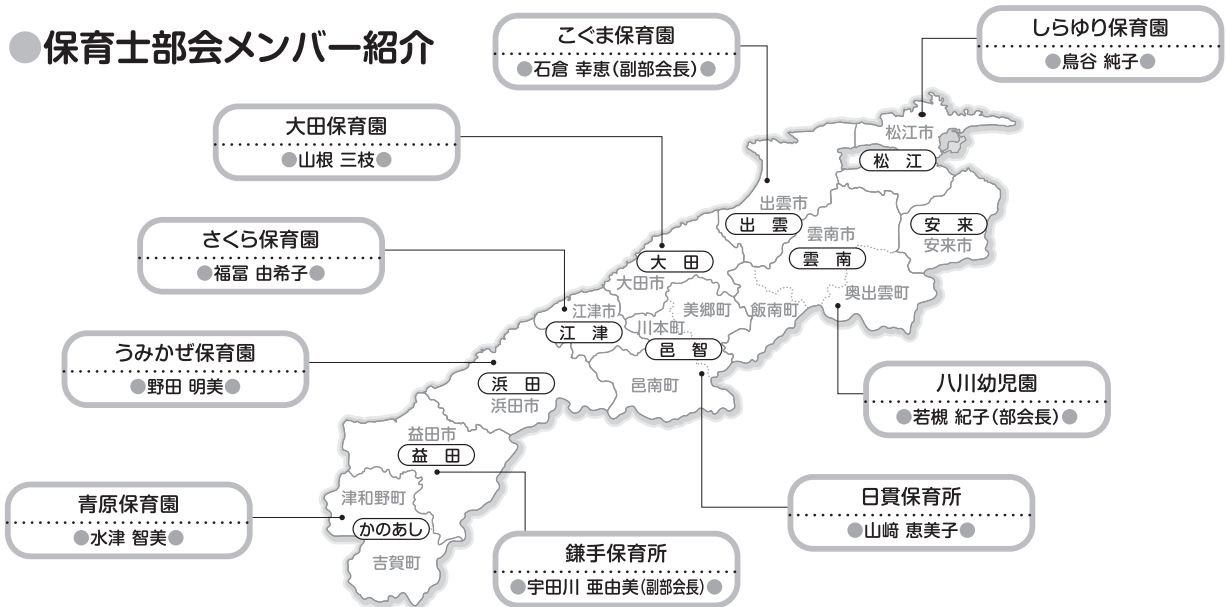
さて、先般の「保育者のつどい」においては、元立教女学院短期大学教授今井和子先生に「保育の質の向上をめざして」～自己肯定感を育む保育～という内容でご講演いただきました。以前より、今井先生は愛着関係アタッチメント形成を大切にする保育について伝えられ、当日も熱心にお話いただき、参加した保育者の心に響く講演会でした。

乳幼児期の子どもたちにかかわる私たちは、子

どもを見守るだけでなく、安心できる存在になり、「子どもと共にいること」「一緒にすること」のかかわりを大切に、子どもにとって意味ある存在でありたいと思います。そして、一人ひとりの子どもたちの育ちを捉え、目に見えない内面を観ようとする、その子らしさを認めてその子らしさを表現できる支えをしていかねばならない重要な役割にあることを、あらためて感じました。一人ひとりの子どもたちが夢中になって遊ぶことの中にこそ自己肯定感の育ちがあること、学び力につながっていくことを捉え、保育の中でどのような展開・実践となっているのか？今一度考え、しっかり組み立てる必要があることを感じました。日々の保育に見通しをもち、計画的な保育を組み立て、保育の質を高めていくよう努力していきたいと思っております。

保育士部会は、調査編集委員、総務研修委員で活動します。保育士部会だより「てつなぎ」は、年2回発行いたします。各市郡の皆様からのご意見・感想・情報提供など、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

### ●保育士部会メンバー紹介



# 保育者のつどいから

平成27年6月27日(土)

出雲市民会館にて「保育者のつどい」を開催しました。

## 記念講演

### 保育の質の向上をめざして～自己肯定感を育む保育～

講師:元立教女学院短期大学教授 今井 和子氏

#### 《講師紹介》



・元立教女学院短期大学教授 ・子どもことば研究会代表  
 23年間東京、川崎市で公立保育園の保育士として勤務され、「子どものことば」「自我の育ち」「質の高い乳児保育の実践と子育て支援」を柱とした実践研究を積み重ねてこられた。  
 保育園退職後、お茶の水女子大学非常勤講師、東京成徳大学・立教女学院短期大学教授を経て、再び東京調布市にある保育園園長としてご活躍された。  
 現在は保育園園長を退職され、全国各地での保育者研修会を精力的に行っておられる。  
 《主な著書》  
 「遊びこそ豊かな学び」「子どもことばの世界」「今求められる質の高い保育の実践と子育て支援」 他多数

## 今井和子先生にインタビュー

講演の前に今井先生にインタビューをさせていただきました。



### 島根は何度目ですか？

ここ3年は乳児研修で続けておじゃましています。それまでも、松江、益田、隠岐など県内全域に呼んでいただいています。

### 島根の印象はどうですか？

ゆったりしている印象を持っています。朝、散歩をすると高校生がきちんとあいさつをしてくれるのが嬉しいです。これは他の県ではなかなかないことです。

### 先生の講演に対する思いは？

日本の子どもたちは世界でも驚かれるほど「自己肯定感」の育ちが低いと言われています。アタッチメントの重要性をしっかりと伝えたいと思います。

### 保育の質の向上を図るために必要なことは何でしょうか？

記録をとることが大切です。書くことは感動を保存すること。毎日の生活と過去の生活を大切にすることで自分自身の保育をふりかえることができます。

### 最後にメッセージをお願いします

私自身が生きがいのある生活ができたのは保育者であったからです。保育者が元気をもって日々の保育に取り組みましょう!!

### ★インタビューを終えて…

前日の新潟での講演の際、「明日飛行機飛ぶの？」と言われ、急遽予定を変更して自宅に戻らず新潟から岡山に直行。その日のうちに岡山入りし、私たちの研修会に駆けつけて下さった今井先生。30分のインタビューの時間はあっという間でした。

今の日本の子どもたちに対する危機感。それを救えるのは乳幼児に対する保育とその保護者に対する保護者支援という二つの大きな役目を担っている保育者に尽きる——という先生の熱い思いがひしひしと伝わってきました。

「根を養えば木は育つ」——大先輩の今井先生から励まされ、「よし! 頑張るぞ!!」と思ったひと時でした。今井先生、ありがとうございました。

## 概要

はじめに 自己肯定感とは、産まれてきて良かった、自分が好き、何でもやれる、価値のある人間と思えることです。自己肯定感を育むためには乳児期に基本的信頼関係を築くことです。「根を養えば木は育つ」。根になる乳児期にしっかり自己信頼、他者信頼を育み愛着を形成することで、自己肯定感を育み人として成長することをお話していただきました。

子どもの目に見えない心の育ちを理解し支える → 「質の良い保育は子どもの人生を変える」



## 自己肯定感はどうに育まれるか？

- ① 養護を通して自己肯定感が育まれる → 大人と子どもの日常的な個別のふれあい
- ② 自分の思いが人に伝わったと感じた時 → 子どもの目が輝く / 人への信頼感が育つ
- ③ 遊びを通して育まれる自己肯定感
  - ・ 自発性 → 自分の求めに従って行動する / こんなことができる自分 / こんなことが楽しい自分
  - ・ 夢中になる → 大脳を活発にし、脳の資質を高める / 自分が自分らしく生きられる
  - ・ ごっこあそびを楽しみながら夢や願いに近づいて行く子どもたち → 憧れが子どもを育てる
  - ・ 失敗や葛藤を体験する <子どもが困っている時、挫折している時こそ共感し支える援助を> → 負の体験を乗り越えてこそ自己肯定感が確固たるものになる
  - ・ 友だち関係を通して育まれる自己肯定感 → 友だちと一緒に活動し喜びや楽しみを分かち合う体験 → 友だちや仲間の中で認められてこそ輝く
- ④ 命の尊さを知る

## まとめ

- 1) 保育士の専門性 ①聴く力 ②褒める ③なぜ? 行為の意味を考える
- 2) 自己肯定感を育む 叱り方 → マイナスの言葉で言わない、叱らない  
 なぜいけないのかを知らせる  
 自分の感じ方や考え方を「私は〇〇と思う」「〇〇してほしい」と私言葉で

## 感想

豊富な事例、DVDを挙げての講演、大変勉強になりました。先生の熱心な思い、情熱的なお話を聞いて、一人一人の子どもを育ちを理解し支え、自己肯定感を高めていけるように年齢における発達を理解し、受けとめ、信頼関係をしっかり築きながら愛着形成ができるようにしなければいけないと強く感じました。一人一人の子どもたちが、「自分が大好き」「友達が大好き」と感じられる保育を心がけていきたいです。



## 保育者のつどいから

### 今井和子先生の講演を聞いて～参加者アンケート～

#### 1 一番印象に残ったこと

- ① 自己肯定感
  - ・日本の高校生は自己肯定感を持った子が少ないという現状（日本 36.1% 他国 70～80%）
  - ・子どもの育ちにいかに大切か
  - ・夢中になる遊びの中で育まれる→乳幼児期に丁寧な保育がいかに大切かということに改めて気付かされた
- ② 根っこを養えば木は育つ
  - ・目に見えない部分（根っこ）を育てることの大切さ
  - ・「見る」と「観る」は違う。目に見えない心を観ようとするのが大切。観ようとしなければ観えない
  - ・しんちゃんのDVD。子どもの本当の気持ちに気付き、寄り添える保育者になりたい
  - ・子どもが葛藤している時こそ大人の支えが必要
- ③ 質の高い保育がその子の人生を変える
  - ・日々の保育の振り返りを大切にしていきたい
  - ・子どもを褒める時に「その子らしさ」やプロセスを認めること
  - ・「ケンカ」と「イジメ」は違う。保育者が信念を持って子どもと接することが大切
  - ・保育者も夢中になって遊ぶことの大切さ
  - ・保育者の情熱が子どもの育ちを支えると確信した。今井先生のパワーと熱意に感服!!

#### 2 自分自身の保育を振り返って感じたこと

- ・いつも同じようなほめ方をしていた
- ・自分自身が子どもと夢中になって遊ぶことを忘れてしまっていた
- ・見えた部分だけで判断して子どもの行動の奥にあるものを観ていなかった
- ・つい否定的なことばをにかけていた

#### 3 明日からの保育に活かしたいと思ったことは何か

##### 「子どもの思いを受けとめる」

- ・言葉にならない思いを受けとめて丁寧にかかわっていききたい
- ・「ケンカ」と「イジメ」。良いことと悪いことをきちんと伝えられる大人でありたい
- ・養護の原点である1対1での関わりを大切に、愛着関係をしっかり築いていきたい
- ・子どもとしっかり向き合い、辛い時こそ支えていきたい

##### 「ほめ方・叱り方」

- ・ほめ方を変えていきたい
- ・プロセスを大切に「ほめ方」をしていきたい
- ・「怒る」と「叱る」。違いを理解し、叱り上手になろうと思った。私言葉で叱れるようになりたい

##### 「あそび」

- ・保育者自身が子どもたちと夢中になってあそびたい
- ・鬼ごっこを本気でしたい
- ・ごっこあそびを充実したものになりたい
- ・ごっこあそびのなかで働く人を丁寧に取り上げてみたい
- ・夢中になって遊べる環境を作りたい

## 人材育成ミーティング～保育者の交流広場～の報告

8月5日（水）は東部会場で、8月7日（金）は西部会場で、人材育成ミーティングを行いました。人材育成ミーティングでは保育者の交流を大きな目的としています。日々の保育の中で悩んでいることを共有することで課題に対してのヒントを見つけたり、保育の楽しさを共有することで更にその楽しさを深くしたり、そんなことをねらいとした場です。人材育成ミーティングがスタートしてから3年経ちました。まだ十分に周知されていない場ということもあり、参加者はまだ多くはありませんが、保育者の交流のための貴重な場となっていると感じています。

今回は日々の保育の「やりがいと大変さ」について、KJ法という手法を用いて話し合いを行いました。KJ法とは、例えば今回であれば同じ内容の「大変さ」をグループ化する（例えば保護者対応に関する大変さのグループとか、職員間の連携に関する大変さのグループとか）ことで「大変さ」を整理して分析し、課題の解決法を探っていくものです。話し出すとすぐに時間が足りなくなり解決法までは至りませんでした。それでも個々の感じている「大変さ」をみんなで整理していく中で、同じような課題に直面していることを知ることができたと思っています。またやりがいに関しても同じで、参加者同士でやりがいを共有できたことで保育という仕事の意義についても再確認するきっかけになったのではないのでしょうか。



今回の人材育成ミーティングでたくさんの「やりがいと大変さ」についての思いを聞かせてもらったわけですが、この思いをもとにして、今度は10月24日（土）に開催される島根県保育研究大会の人材育成分科会において、各保育園のリーダーのみなさんと共に「保育者がいきいきと保育を行うために何をすべきか」を考えます。リーダー的役割を担った人が、保育者が感じている大変さをどう受け止め、何を見出すかによって、保育園の姿は大きく変わってくると思っています。保育者がいきいきと楽しく活動ができるように、人材育成分科会で活発な議論が行われることを期待しています。



子どものつばぎ

朝の会、お当番さん紹介の時に「ばんがります!」「がんがります!」と張り切ることも

保育者のつばぎ

運動会の練習でのこと...

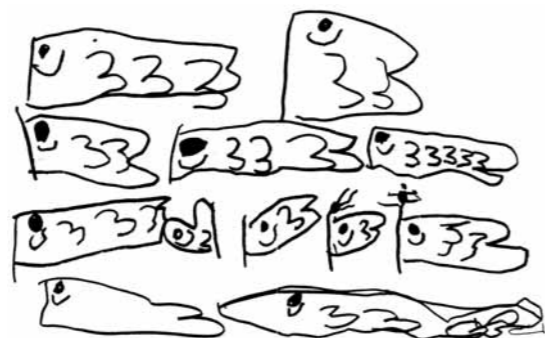
走っている3歳児Aちゃんに「がんばれ～Aちゃん。しっかり手をふって!」と、声をかけたら...

立ち止まり、「せんせ～い!」としっかり手をふってくれました。

子どものつばぎ

4歳男児

子「せんせい、僕の靴がなーい!」  
保「どんな靴なん?」  
子「えーとねえ、クロックツ」



おうすに  
このほりがおらんけえ、  
いっばい猫いた

(4歳女児)

保育者のつばぎ

園外保育に出かけた時の事、四つ葉のクローバーを発見!!

保「いいなあ、それ先生にちょうだい」  
子「じぶんでみつけて!!」  
保「そうよね。自分で見つけんと幸せはこんよね...涙」



【おーい! くもさあ〜ん!!】

子どものつばぎ

4歳女児

子「昨日見たDVDおもしろかった〜!」  
保「何みたの?」  
子「トマトゼリーだよ!」  
保「?」...トムとジェリーでした。



子どものつばぎ

かわいい間違い4連発!

★「わたしのお姉ちゃん マヌケしとるよ!」(マニキュアのことでした)  
★「♪でんでんむしむしかたつむり〜 おまえのあたまはそこにあるう〜♪」  
★「きんたろうの名前知ってる?」「まさかのきんとき!!」(さかたのきんときですな)  
保「♪すうじの4はな〜に」  
〜自信满满、大きな声で〜  
子「♪たかしのゆ〜み〜や!」  
保「たかして誰〜!」  
クラスみんなで大笑いしました。

保育者のつばぎ

ある日Aちゃんは、私がほかの子の髪をぎこちない手つきで結んでいるのを隣でじーっと見ていました。後少して結び終わる頃Aちゃんが、一言。「やろうかあ?」大笑いしてしまいました。

連絡ノートより

3歳男児

たくさん遊んでたくさん食べて疲れたようで、夜お風呂で大あくび。  
子「なんだか足がおもい。もってみて〜」と言ったので笑ってしまいました。  
母「ほんとだ 重い」  
子「あつ、やっぱり」  
相当疲れて、眠くてだるかったみたいです(笑)

保育者のつばぎ

午睡時の事

少し離れた所から、いつまでもゴソゴソしているK君に  
保「一緒に、寝る?」  
K君 グシャグシャになっていたシーツをきれいに伸ばして寝転んで  
「先生、先に寝てるよ!」  
保 ドキッ♡



子どものつばぎ

4・5歳児

ALTさんとの交流。動物のカードを見て英語を覚えてもらっていた時の事。

A「ブタは英語で何て言う?」  
子「ポーク!」  
子「プー!」  
A「ちがう(笑) かわいいね♡」

連絡ノートより

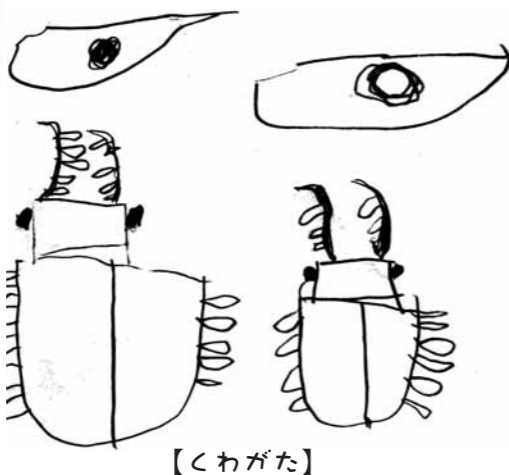
夕ごはん、大丈夫かなと思ってカレーライスの中辛を出したら、予想以上に辛かったようで「いじめじゃん!」と言われてしまいました。



子どものつばぎ

2歳男児

園の畑にあったじゃが芋が収穫されていることに気づき...  
「おいもさん、お引越したんかねえ〜」



【くわがた】

子どものつばぎ

砂場でままごとをしているとき

子「これ食べて〜」  
保「(パクパク) ... おいしいね!」  
子「ねえ、先生。砂はたべられんよ」  
保 失笑

子どものつばぎ

午睡時間中の事

保育士が化粧直しをし終わってふと見ると、B君と目が合った。  
B君 ニッと笑い...「先生、女の子になった?」

連絡ノートより

夕方、少し横になって目をつむり休んでいると子どもが「おかあさん、死んじやったの?」と目に涙をためていました。勝手に殺すなー!と思いつつも、涙をためて心配そうにする姿に嬉しくて涙が出ました。

保育者のつばぎ

「コケッコー!」4か月のRちゃん、ご機嫌ななめの時でもなぜかこの声を聴くと不思議と笑顔になります。そのため、いざという時には、「コケッコー!」  
すっかり鳴き声が上達した保育士。部屋の外で聞いた人は、ビックリです。この部屋で、ニワトリは飼ってませんよ〜!

子どものつばぎ

保育士とA君(3歳児)は誕生月が同じ  
保「A君!〇月生まれ?、先生も〇月に生まれたよ。一緒じゃね!」  
A「同じなのに なして先生はそんなに大きいの?」



【女の子】